

たあとるほいくえん

【平成27年度 自己評価への取り組みと状況報告】

平成27年度も当園保育活動にたくさんのご協力とご理解をいただき、ありがとうございました。

たあとるほいくえんは子育て新制度に伴い『堺市認証保育所』から国の認可事業『小規模保育事業』として再スタートしました。この小規模ということを最大に生かすことが私たちの使命であると感じております。保育者が子どもたち一人ひとりとじっくり触れ合える時間を大切に、また子ども同士の触れ合いや人間関係をより近くで、温かく見守れるような保育所にしていきたいと考えています。

そして、連携施設としてサポートして下さる、おおとり保育園さん・鳳幼稚園さん・諏訪森幼稚園さん。当園卒園児を優先枠により受け入れてくださり、心より感謝しております。従来、ご利用いただいている保護者様としましても、当園としましても、3歳児以降の行き先がない事をととても不安に感じておりました。このような貴重な優先枠を設けていただき、安堵と感謝の気持ちでいっぱいです。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

さて、今回自己評価としまして、当園独自の項目を設け、全保育者による園の評価(良き点)、及び改善点をまとめましたので、お知らせ致します。この評価を受けまして、さらなる質の向上と、改善に努めていきいたいと思っています。

保育の計画性

- 合同保育を実施し、異年齢と関わる時間を作っている。
- 行事前にクラスで話し合う場を設け、必要な事を分担できるようになった。また、行事が決まる事で保育にめりはりがついた。
- 季節に合った保育をしている。天気の良い日はなるべく戸外へ出ている。
- ミーティングを行うことで、子どもの姿、クラスの様子を改めて皆で共有することができ、翌月の目標、課題が明確になっている。ミーティングノートに詳しく記録されて

<p>良評価</p>	<p>いるので、職員全員がその内容を把握することができている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職員会議で予め活動の内容が理解出来ている。 ○職員会議、クラス会議が取り入れられたので、見通しが付いて活動がしやすくなった。 ○職員ミーティング、学年ごとのミーティングを設定したことで、行事製作等に意識して計画を進めたり、その計画を伝えたり話し合ったりすることができるようになった。 ○職員会議で翌月の行事、用意すべきことが分かる。
<p>課題 改善点(策)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○季節の歌の振り付けが、統一されていないことがあるので、その都度保育者で相談し合い、子どもたちが真似しやすいものに統一する。 (改善策)クラスミーティングで翌月の季節の歌(振り付け)を統一するよう改善する。 ○勤務日に合わせて、早めに準備できるようにする。必要な材料、アイデア等を積極的に出し合い、より良い保育を行う。 ○時間をかけて、何日かに分けてする製作と、その日で出来る製作を考えたい。 (改善策)日を分けても、しっかりとつながりを持ち、子どもたち一人ひとりのペースに合った製作を考えていきます。 ○運動あそびをもっと取り入れる。 (案)低年齢で少し難しいが、マットを使ってコロコロ、ジャンプをしたり、はいはいを使ったもの(転んだ時に手を反射的に前へ出せるようになる)。つま先立ちで移動する。 (幼児期に跳び箱の踏切時や、脚力、ジャンプ力が育成される)といった保育を導入する ○日案の書類が負担だと思うので、枚数を(月1~2枚)減らしたい。 (案)日案は保育の内容に対し、子どもの姿を予想し、留意点を記載し、その保育の質を高める目的と、保育後に反省点を書き、次回に生かすという意味を持って記入をお願いしているものとなります。また、記録が残りますので、過去の保育内容を見て、留意点も分かりますし、同じ内容の保育の質が上がるという目的で記入をお願いしています。 現時点で減らしたり、無くすことは難しいですが、子どもと触れ合う時間に重点を置くことが望ましいと考えていますので、負担を軽減するために用紙の内容を再検討中です ○全体での行事、合同保育の時は担当の先生が責任を持って他の先生にも、その内容を伝え、ミーティングの機会を利用したり、相談したりと意見交換ができるように意識を持つ。 (案)前月ミーティング時に、計画した内容の日案を全保育者に配布し、内容と展開を確認していく。また、意見交換により充実したものにしていく。
<p>子どもとの触れ合い対応</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ○保育士が配置基準よりも多くいるので個々をよく見る事ができていると思う。 ○一人ひとりの気持ちに寄り添い、ただほめる、ただ叱るのではなく気持ちを前向きにもっていけるように声掛けをしている。 ○少人数制なので、一人ひとりしっかりと関わっている。 ○保育士全体で保育を行う体勢が整っているので、子ども一人ひとりに合わせた声掛けや対応が可能となっている。 ○リズム体操を実施し、身体を動かす中で保育者やお友達と触れ合い関わりを持つ

<p>良評価</p>	<p>時間が濃くなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○異年齢合同保育の時間がある事で、園全体で全員を暖かく見守れている。 ○ランチルームが出来たので、他クラスの様子も分かりコミュニケーションが取れている ○個々に合わせた援助、声掛けをしている。 ○偏りなくコミュニケーションやスキンシップをとっている。 ○一人ひとりに合わせた保育をしている。 ○少人数なので、一人ひとりじっくりと関わることができる。
<p>課題 改善点(策)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○呼び捨てで呼んでしまうことがあり、子ども達も真似をしてしまい、子どもたち同士もそのように呼び合ってしまうことがある。 (改善策)親しみを持って名前のみで呼ぶこともあるかと思いますが、「〇〇くん」「〇〇ちゃん」と呼んであげるように徹底する。 ○一人だけに関わらず常に周りを見て、安全に触れ合う。 (改善策)危険予知能力を鍛え、室内の棚配置等から危険を予測し、死角の把握により安全な環境を作っていけるように努めていきます。 ○一人ひとりの個性をのばせるように接する。 (改善策)保育者との関係や触れ合い方で子どもの個性はぐっと伸びるものだと考えています。個人計画を元に一人ひとりが持つ個性に気付き全保育者で成長を支えていきます。 ○玩具で遊んでいる際、子ども達が飽きている。他に興味を持っている時は柔軟に切り替え保育を展開させて対応する。 (改善策)子どもの満足度を見極め、飽き(退屈)に対しての対応を工夫していきましょう。飽きると立ち歩き(走る)他のことをしがちになっていると思いますので玩具や保育の展開を変えていけるように改善していきます。 ○個々に応じすぎないようにし、集団活動をする。 (改善策)現代個性を重視される中、「木を見て森を見ず」という言葉もあります。個を見過ぎて、集団(全体)が見えなくならないように、集団(活動)として見ることも大切にしていきます。 ○他のクラスの様子も詳しく知っていきたい。 (改善策)0歳児～2歳児まで、一貫して、見通しの持った保育ができるように、子どもたちの様子、変化を全クラスミーティングで伝え合っていきます。 全クラスミーティングでクラスの内容が分かりやすく伝えられるように、報告すべき内容のポイントをまとめることとします。(当月個別計画を元に子ども同士の関係、子どもの成長課題、クラスの成長課題、ヒヤリハット→それに対して保育者の立場としてどう触れ合う工夫をしていくか?)
<p>保護者への対応</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ○他の先生に任せてしまうのではなく、自分が知っている、自分の目線から見た子どもの様子を伝えるようにしている。 ○クラスノートがあるので、お迎え時に担任が不在でもその日の状況を伝えられる。 ○連絡ノートに加え、お迎え時にも子どもの姿、一日の様子を直接お話する時間が

良評価

あることは保護者の、園への理解へと繋がっていると思う。

- 登園簿(各クラスのノート)に欠席理由や様子が書いてあるため状態を把握して関われる。
- 家庭の事情に応じて預かれる環境を考えている。
- 明るく笑顔で挨拶することを心掛け話やすい雰囲気であるよう気をつけている。
- 子どもの様子を送迎時に詳しく話している。
- 運動会、お誕生日会等の保護者招待で、保育の様子を見てもらえる機会が持っている。

課題 改善点(策)

- 子どもの健康状態を出勤した際に把握し、受け入れの際は様子を細かく聞けるように努める。
(改善策)朝子どもの登園視診は大きな課題と捉えています。保護者に毎朝記入いただく健康管理表を見て、保護者と一緒に子どもの健康状態を確認することで、より子どもの状態を把握できるかと考えています。基本的には、いつもと変わらないか？家庭で怪我はなかったか？昨日との変化を確認していきます。(確認すべきことがあれば、健康管理表に追記していきます。)
- 年一回でも保護者会があると意見が聞ける。
(改善策)年一回の保護者会、また、保護者一人ひとりとの相談会を設けていくよう調整していきます。
- 保護者が保育室に入る機会が少ないので、園だより(ブログ)で具体的に様子を伝えていく。例:今月の誕生児、歌、ニュース、他ランチルームが出来たよ！等
(改善策)ホームページ内ブログか玄関にボードを置き、園の様子を知ってもらえるように変えていきます。また、園だよりにも記載していきます。
- お迎えが重なり玄関に先生が数人行ってしまい、他の子どもを見る方が手薄になってしまっている時がある。
(改善策)送迎が重なっていても、先に対応されている保育士が受け渡しをし、連絡ノートをもとに伝達していきましょう。重要伝達事項があれば、交代してもらう等の対応を取り、残っている子どもの人数にもよりますが、基本的には一人に対応するように改善します。
- 話が長くなりすぎないように短く伝える。
(改善策)伝達事項は端的に伝えることが良いかと思いますが、保護者支援、家庭状況の把握を含め、会話(話を聞いてあげる)をして信頼を得ることも大切にしましょう。信頼は聞いてあげる、受け止めてあげることが大切であると考えています。
- 保護者の方々も参加できる行事をもう少し増やすことにより、普段どのように生活しているかをより感じてもらえて良いと思う。
- 保護者に見てもらおうとなると、プレッシャーは相当あるが子どもたちも嬉し恥ずかしい気持ちも持っていて良いと思う。仕事の都合で来られない家庭はしっかりフォローするよう心掛ける。
(改善策)今後、保護者に子どもの様子を見ていただく機会を増やしていけるよう提案を出し合っていきます。

自然や社会との関わり(散歩・戸外あそび)

良いところ

- おおとり保育園の園庭開放に行く事により、地域の子ども達と触れ合えたり、いろいろな玩具で遊べてより楽しく過ごせていると思う。
- 色々な素材や手作りの物を取り入れ、多様に興味を持ちあそべるように工夫する。
- お花や虫の名前を伝えたり、図鑑をよく見ている。お散歩時に挨拶をする。
- お散歩時に地域の方々と元気に挨拶をしている。
- 子どもたちが発見したものを一緒に驚き、楽しみ、共感する事を大切にしている。
- 戸外や園庭に積極的に出ている。
- 公園、図書館、たまてばこ(読み聞かせ)、商店街、消防署等の公共施設さんにご協力いただき、利用させていただいている。
- 金魚やカタツムリ等の小さな生き物を身近に観察したり見ることができる。
- 園庭にたくさんの自然がある(草花)
- 園庭ができてたくさん外あそびができるようになった。

課題 改善点(策)

- 地域の方々と触れ合える行事をつくと、たあとるほいくえんはどのような雰囲気でのどのような所なのかをより知ってもらえて良いと思う。
(改善策)園庭開放(地域のお友達)や地域施設との触れ合いを現在検討しています。消防署見学や介護施設との触れ合いができればと考え進めています。
- 時間があるから戸外へ出るではなく、常に目的を持ち、短い時間でも子どもたちが充実できるよう考える。
- 害虫に気をつける。
(改善策)季節によっては、蜂等の危険もありますので、注意していきましょう。
- 雨が続いた後の(猫よけ)砂場用シート上の水たまりの処理方法はないか？
(改善策)雨の降った翌朝に砂場用シートを開け、上に貯まる水を流すように改善します。

保育士としての能力や良識・適正(研修等)

良評価

- 分からない事があると他保育者に質問しやすい関係性である。
- 興味のある事、疑問に感じたことは他の保育者にすぐに聞いている。
- クラスで話し合い、製作や保育を考えている。
- 自己評価によって、たあとるほいくえんの保育を園全体で再確認し合え、改善に努めることができる。(他の先生の考えが聞けるのでとても参考になる。)
- 幼稚園、保育園の経験の先生が上手く調和できて保育出来ている。
- 分かりやすい言葉で伝えたり、子どもの動きを想像して立ち位置を考えて保育している。
- それぞれ個性のある保育がなされていると思う。
- 室内で走らない等、全体で徹底できている。

<p>課題 改善点(策)</p>	<p>○子どもたちが集団にしっかりと入って生活出来るように、「今は何をやる時」というのをもう少し分かりやすく伝えていけるようにする。</p> <p>○時間のあるときは、保育に関する本等に目を通し、新しい事にも対応する。 (案)過去の園外研修や保育に関する本は用意していますので、時間を設け学習していきます。また、園内研修の参加により知識や保育の質を園全体で向上させていけるように努めます。</p> <p>○毎月のミーティングの時以外でも、クラスの状況や個人の相談をもっとしていった方が良くと思う。 (案)クラス別ミーティングに施設長が参加して状況の伝達と相談を進めていくように内容を変更する。</p> <p>○特定の先生にピアノを任せている。 (改善策)基本的には各クラス担任がピアノによる保育をしていきます。</p> <p>○保育士間で、それぞれの立場や経験を踏まえた意見交換や問題提起がもっと盛んに行えれば良くと思う。 (案)ミーティングの質の向上。意見しやすい環境作りに努めていきます。</p> <p>○現状に満足しないで他の先生の良いところを参考にし、情報やアドバイス等も受け入れ、自分の保育に生かせるようにしていきたいと思う。悩みや困っていることがあれば、他の先生に相談していく。 (改善策)全員で15人の保育士がいます。経験もそれぞれですので、互いに意見交換できるような場を設けていきます。また、他の保育者の保育を見たり、見てもらう機会(園内研修)を増やし、参考にできるように改善します。 たあとるほいくえんが互いに相談しやすい環境・関係性になるよう、すべての保育士が意識し、保育の質の向上に努めていきます。</p>
<p>安全面及び衛生面</p>	
<p>良評価</p>	<p>○毎日、使った玩具を消毒し、清潔に保たれている。</p> <p>○壊れた所、危険な物はすぐに取り除く。子どもの顔が汚れていたら清潔に拭いてあげる。</p> <p>○ネジの緩みをなおしたり、角の危ないところは配慮できている。</p> <p>○防災意識が高いので安心。</p> <p>○子ども達に怪我のないように目配りをしている。</p> <p>○表を見て、その日使ったおもちゃを消毒している。</p> <p>○前回での改善点にすぐ対応されていて、実行しているところがすばらしい。先生たちが毎日こまめに消毒をしている姿を見ている子があそびの中で、それを真似てあそんでいた。</p>
	<p>○カラー帽子のゴムを食べてしまう子どもがいるので、頻度を増やし洗濯をするか帽子は個人持ちの方が清潔であると思う。 (案)週に一度していた洗濯を天気の良い日を見て、できるだけ洗濯するように改善します。</p>

課題
改善点(策)

- 身だしなみはきちんと整える。
- 棚の上の置いている物の整理をする。
- (案)常態的に置いているものは、他の場所へ移動できないのか？また、一時的に置いているものは、用が済み次第片付けように改善する。
- 子どもが一人でトイレへ行った際、後の手洗いが曖昧になっていることがあるので、声を掛けて知らせる。習慣となるように伝えていく。
- おやつ前きれいに手を洗っているが、手を拭いたりタオルを床で畳んでいる子もあり、あちこち触れるので、洗ったらすぐに座り、タオルやノートは別のタイミングでなおす方が良くのではないかと思います。
- (案)子どもたちは、手洗いが終われば、そのままおやつの席へ向かい、タオルやノートの片付けを、おやつ後に片付けるように改善します。
- 現状を持続していく。

保育に必要な教材や保育用品

- 園庭であそべるボール数個
- 絵本の修繕